

第2学年4組 特別の教科 道徳学習指導案

- 1 主題名 多様性について考える B-(9)〔相互理解、寛容〕 1時間完了
教材名『「桃太郎」の鬼退治』 出典「きみが いちばん ひかるとき」光村図書

2 主題設定の理由

中学校生活の中で、自分の考えや意見を相手に伝える場面は多い。中学2年生になり、さらに自分の意思が明確になり、堂々と自分の思いを語る生徒も増えている。しかし、人が互いに理解し、よりよい人間関係を築くためには、自分の正当性を主張するだけでなく、相手の立場や気持ちにも考慮する必要がある。自分とは異なる様々なものの見方や考え方が存在することを認め、物事を多面的に捉える姿勢が大切である。そこで、本時では同じ一つの出来事であっても、立場や考えが違ふと見え方が全く異なることに気付き、異なる考えの人どうしが理解し合うためには、どうしたらよいか考えたい。自分が正しいと信じていたことであっても、ある見方をすれば、正しさと正反対の位置にあるかもしれない。物事の多面的な見方を養うだけでなく、他者を理解し、尊重し合うことの難しさに気付き、そのうえで自己決定や最適解が導き出せるようにしたい。

5月には、本学級2年4組(37人)の生徒に、同出典の「ジコチュウ」の授業を行った。本教材と同じく〔相互理解、寛容〕について取り扱った内容である。生徒の振り返りの中には、「相手のことを本当に理解することは難しい」「自分の思いを相手に理解してもらうことが大切」「表面上の言葉だけを捉えてはいけない」などの意見が見られた。お互いに自分の考えを伝え合うことがよりよい人間関係を築くために欠かせないことを学んだが、本時を通しての目指す姿である、他者を理解し、尊重し合いながら自己決定する姿には届かなかった。本時の授業では、「ジコチュウ」で学んだ他者理解の考えをもとに、多様な考え方の中での最適解を導き出せるようにしたい。そして、今後の学校生活の中で、クラスとしての最適解を導き出せるようにしたい。

本時の資料は、昔話の「桃太郎」と、阪田寛夫の詩「鬼の子守唄」を組み合わせた教材である。誰もが知っている昔話で、桃太郎が鬼を退治することで「めでたし、めでたし。」とハッピーエンドを迎える。しかし、後半の「鬼の子守唄」の中では、鬼の子から見た桃太郎は、怖い存在であり、桃太郎が鬼退治することに恐怖を感じている。生徒にとっては、当たり前のように、絶対的な正義とされている桃太郎が、ある面では悪かもしれないと気付くことは、物事を多面的に捉え、考えるためのきっかけになるだろう。本時では、このような生徒の気付きや考えを、全体で共有するために、Mentimeterを活用する。リアルタイムで生徒の考えが大型ビジョンに映し出され、多様な考えがあることが一目でわかる。Mentimeterの結果をもとに、本当の「めでたし、めでたし」にするためには、どのようにしたらよいか、他者の意見を尊重しながら、グループや個人で最適解を見つけ出してほしい。

本時を通して、今後の学級活動や学校生活の中での他者との関わりをより一層、大切にできるようにしてほしい。そして、様々な考えがある中でも、相互に理解しようとし、寛容さをもちながら、自己決定をすることのできる意思の強さを身に付けてほしいと願っている。

3 本時の学習指導

(1)ねらい

- ①それぞれの個性を尊重し、様々なものの見方を理解することのできる寛容な心情を高める。
- ②他者の考えをもとに、自分の意見や考えをより確かなものにすることで、自己決定をできるようにする。

(2)準備

- ①教師…教科書、タブレット(Mentimeter)、ワークシート、資料①
- ②生徒…教科書、タブレット(Mentimeter)

(3) 展 開

段階	生徒の活動	教師の活動
導入 (5)	<p>1 昔話の桃太郎について、思い浮かぶことを出し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・悪い鬼を退治する ・犬、きじ、猿が仲間 ・桃太郎のおかげで平和になる </div> <p>2 本時の学習課題を把握する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正義や悪といった観点の発言を取り上げる。 ・「めでたし、めでたし。」で物語が終わることに着目させる。発言が出なかった場合には、「めでたし、めでたし。」を取り上げる。 ・本時の学習課題を板書する。
<p>本当の「めでたし、めでたし。」とは何か考えよう。</p>		
展開 (38)	<p>3 資料の前半部分の範読を聞く。</p> <p>4 Mentimeter を使って、発問に対する答えを書き込む。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・平和 ・ハッピーエンド ・正義が勝つ ・よかった ・桃太郎のおかげ ・安心 ・幸せ </div> <p>5 資料①を読み、鬼が本当に悪いことをしたのか考える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・鬼が悪いというのは思い込み。 ・桃太郎が正義だと勝手に決めつけていた。 </div> <p>6 「鬼の子守唄」の範読を聞く。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・鬼の子どもにとってはハッピーエンドではない。 ・鬼にとっては桃太郎は悪。 ・桃太郎のせいでひどい目にあった。 ・本当の「めでたし、めでたし。」とは言えないかもしれない。 ・桃太郎のお話を鬼の立場になって考えたことはなかった。 </div> <p>7 個人とグループで本当の「めでたし、めでたし。」のために必要なことを考える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・物事を勝手に決めつけずに、自分でよく考えることが大切。 ・お互いの立場をよく考えて、お互いが納得できる解決方法を考えたい。 ・お互いを分かり合うためにも努力が必要。 ・冷静に、客観的に物事を見ることが大切。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「鬼の子守唄」の前までを範読する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「めでたし、めでたし。」という言葉から、鬼退治に対してどんな印象をもちますか。</p> </div> <p>と発問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Mentimeter を開くよう指示し、大型ビジョンに生徒の意見を映し出す。 ・桃太郎にとっての鬼退治の意味を捉える。 <p>・資料①を配布する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝手な思い込みやフェイクニュースなど恐ろしさに触れ、鬼の立場や事情についても考えるよう促す。 <p>・「鬼の子守唄」を範読する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>鬼の子にとって、鬼退治は「めでたし、めでたし。」といえるのでしょうか。</p> </div> <p>と発問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを配布し、考えを記入するよう指示する。 ・生徒の意見を板書して考えを共有する。 ・同じできごとでも立場によって全く別の見え方ができることに気づけるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本当の「めでたし、めでたし。」となるためにはどんな考えが必要でしょう。</p> </div> <p>と発問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは各自でワークシートを記入するよう指示する。 ・グループになって意見を共有する。 ・鬼と桃太郎のお互いの立場で考えられるように Mentimeter の結果や「鬼の子守唄」で各自が考えたことを振り返るよう助言する。 ・全体で意見を共有する。

整理 (7)	<p>8. 本時の振り返りを書く。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・異なる立場であっても、話し合うことで正解が見つかるかもしれない。 ・これからは、相手の考えを聞くことを大切にしたい。 ・自分のことだけでなく、相手のことを思いやれる人になりたい。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに授業の振り返りを記入するよう指示する。 ・学級の中でも、考えや意見が異なることは当然であり、その中でもお互いを尊重し、認め合うことで、誰もが幸せになれる方法が見つかるかもしれないという内容の説話をする。
-----------	---	--

(5) 評価

- ① 桃太郎の物語と「鬼の子守唄」を対比して、ひとつのできごとであっても、立場によって見え方が異なることに気付くことができたか。 (活動5・6・7の発言から)
- ② 相手の考え方や意思を認め、お互いの意見を尊重しながら、だれもが納得する最適解を導き出すことができたか。 (活動7の様子、ワークシートから)

(6) 板書計画

桃太郎の本当の「めでたし、めでたし。」とは何か考えよう		
<p><u>桃太郎で思い浮かぶこと</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪い鬼を退治する ・犬、きじ、猿が仲間 ・桃太郎のおかげで平和になる ・最後は「めでたし、めでたし。」で終わる 	<p><u>「めでたし、めでたし。」という言葉から、鬼退治に対してどんな印象をもつか</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和 ・ハッピーエンド ・正義が勝つ ・よかった ・桃太郎のおかげ ・安心 ・幸せ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>同じできごとでも、立場によって見え方が異なる</p> </div> <p><u>鬼の子にとって鬼退治は「めでたし、めでたし。」といえるのだろうか</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・鬼の子どもにとってはハッピーエンドではない。 ・鬼にとっては桃太郎は悪。 ・桃太郎のせいでひどい目にあった。 	<p><u>本当の「めでたし、めでたし。」に必要なこと</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・異なる立場であっても、話し合うことで正解が見つかるかもしれない。 ・これからは、相手の考えを聞くことを大切にしたい。 ・自分のことだけでなく、相手のことを思いやれる人になりたい。